大和物語

沖つ白浪 ―品詞分解―

昔、大和の国　葛城の郡に住む　男・女あり　けり。

こ（代）の（格助・体修）女、顔かたち　いと（副）清らなり（形動ナリ・終）。年ごろ　思ひかはし（サ変・用）て（接助・単接）住む（マ四・体）に（接助・逆確）、こ（代）の（格助・体修）女、いと（副）わろく（形ク・用）なり（ラ四・用）に（完・用）けれ（過・已）ば（接助・順理）、思ひわづらひ（ハ四・用）て（接助・単接）、限りなく（形ク・用）思ひ（ハ四・用）ながら（接助・逆接）、妻を（格助・対象）まうけ（カ下二・用）て（完・用）けり（過・終）。こ（代）の（格助・体修）今の（格助・体修）妻は（係助・区別）、富み（マ四・用）たる（存・体）女に（断・用）なむ（係助・強意（係））ありける（補動・ラ変・用）（過・体（結））。

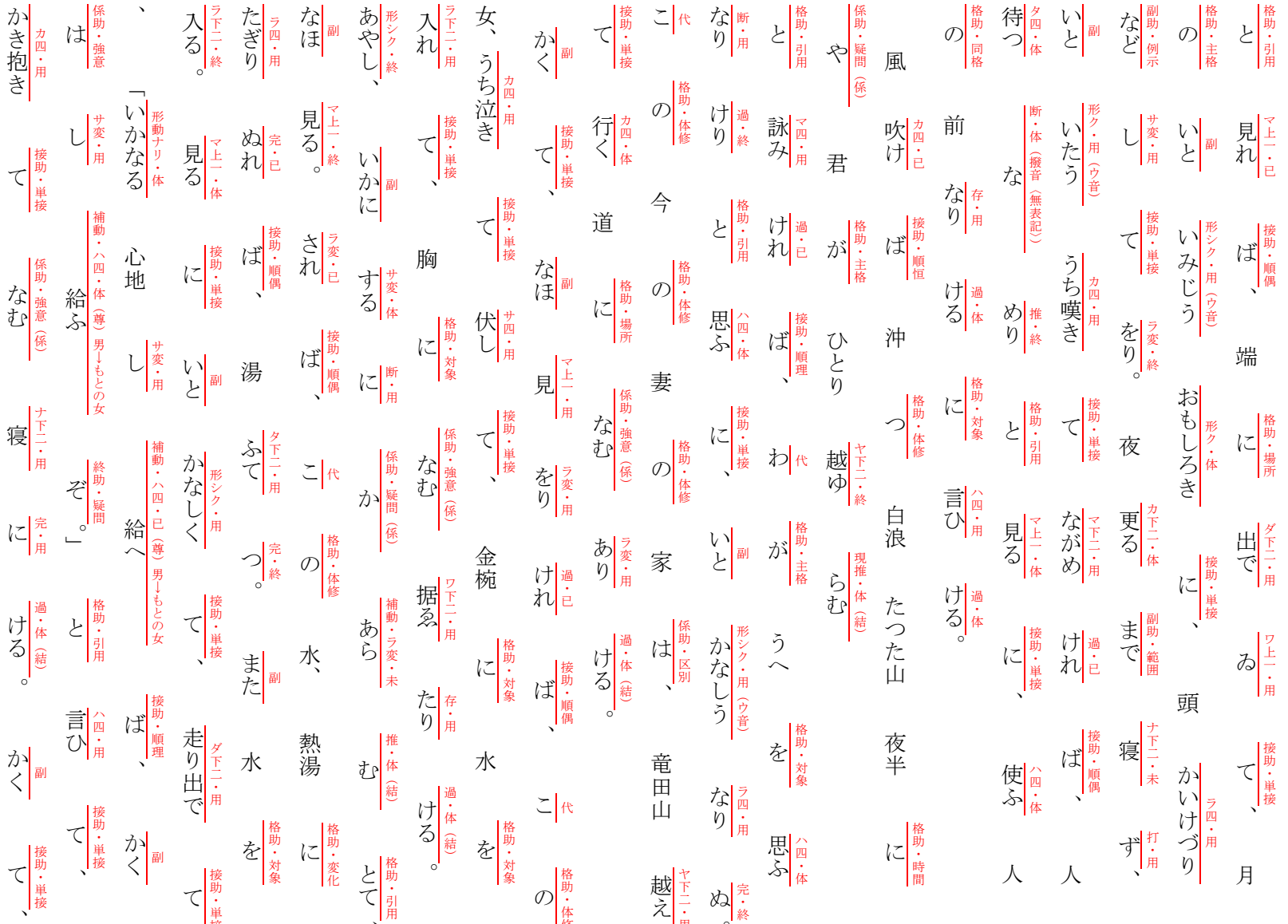
ことに（形動ナリ・用）思は（ハ四・未）ね（打・已）ど（接助・逆接）、行け（カ四・已）ば（接助・順恒）いみじう（形シク・用（ウ音））いたはり（ラ四・用）、身の（格助・体修）装束も（係助・同類）いと（副）清らに（形動ナリ・用）せ（サ変・未）させ（使・用）けり（過・終）。

かく（副）にぎははしき（形シク・体）所に（格助・場所）ならひ（ハ四・用）て（接助・単接）、来（カ変・用）たれ（完・已）ば（接助・順偶）、こ（代）の（格助・体修）女、いと（副）わろげに（形動ナリ・用）て（接助・単接）ゐ（ワ上一・用）させ（使・用）て（接助・単接）、かく（副）ほかに（格助・場所）ありけ（カ四・已）ど（接助・逆接）、さらに　妬げに（形動ナリ・用）も（係助・同類）思ひ（ハ四・用）て（接助・単接）、見え（ヤ下二・未）ず（打・用）など（副助・例示）あれ（ラ変・已）ば（接助・順理）、いと（副）あはれ（形動ナリ・語幹）と（格助・引用）思ひ（ハ四・用）けり（過・終）。

心地に（格助・場所）は（係助・区別）、限りなく（形ク・用）妬く（形ク・用）心憂く（形ク・用）思ふ（ハ四・体）ことに（形動ナリ・用）も（係助・同類）あら（補動・ラ変・未）む（推・体（結））、さるわざ（サ変・未）せ（サ変・未）ず（打・用）は（係助・区別）恨むる（マ四・体）こと　異わざ（サ変・体）する（サ変・体）に（断・用）や（係助・疑問（係））、ありき（カ変・用）する（サ変・体）を（格助・対象）妬ま（マ四・未）で（接助・打消）、ありな（ラ変・用）む（推・終）など、（副助・例示）心の（格助・体修）うち（格助・場所）に思ひ（ハ四・用）けり（過・終）。

と（格助・引用）言ひ（ハ四・用）て（接助・単接）、行く（カ四・終）と（格助・引用）出で（ダ下二・用）て（接助・単接）、見え（ヤ下二・用）て（接助・単接）、

前栽


の 格助・体修
中 格助・場所
に 格助・単接
隠れ ラ下二・用
て、 接助・順偶
男 係助・疑問（係）
や カ変・体（結）
来る
と 格助・引用
見れ マ上一・已
ば、 接助・順偶
端 格助・場所
に ダ下二・用
出で ワ上一・用
ぬ 接助・単接
て、
月
の 格助・主格
いと 副
いみじう 形シク・用（ウ音）
おもしろき 形ク・体
に 接助・単接
、
頭 ラ四・用
かいけづり
など 副助・例示
し サ変・用
て 接助・単接
を ラ変・終
り。
夜 カ下二・体
更る 副助・範囲
まで ナ下二・未
寝 打・用
ず、
いと 副
いたう 形ク・用（ウ音）
うち嘆き カ四・用
て 接助・単接
ながめ マ下二・用
け 過・已
れ
ば、 接助・順偶
人
待つ タ四・体
な 断・体（撥音（無表記））
めり 推・終
と 格助・引用
見る マ上一・体
に 接助・単接
、
使ふ ハ四・体
人
の 格助・同格
前 存・用
なり
に 格助・対象
言ひ ハ四・用
け 過・体
る。
風
吹け カ四・已
ば 接助・順恒
沖 格助・体修
つ
白浪 たつた山 夜半
に 格助・時間
や 係助・疑問（係）
君 格助・主格
が
ひとり 越ゆ ヤ下二・終
らむ 現推・体（結）
と 格助・引用
詠み マ四・用
け 過・已
れ
ば、 接助・順理
わ 代
が 格助・主格
うへ
を 格助・対象
思ふ ハ四・体
けり 過・終
と 格助・引用
思ふ ハ四・体
に 接助・単接
、
いと 副
かなしう 形シク・用（ウ音）
なり ラ四・用
ぬ 完・終
。
こ 代
の 格助・体修
今 格助・体修
の
妻 格助・体修
の
家 係助・区別
は
、
竜田山 ヤ下二・用
越え
て 接助・単接
行く カ四・体
道 格助・場所
に
なむ 係助・強意（係）
あり ラ変・用
ける。 過・体（結）
かく 副
て、 接助・単接
なほ 副
見 マ上一・用
を ラ変・用
り
けれ 過・已
ば、 接助・順偶
こ 代
の 格助・体修
女、うち泣き カ四・用
て 接助・単接
伏し サ四・用
て、 接助・単接
金椀 格助・対象
に
水 格助・対象
を
入れ ラ下二・用
て 接助・単接
、
胸 格助・対象
に
なむ 係助・強意（係）
か 係助・疑問（係）
据ゑ ワ下二・用
あやし、 形シク・終
いかに 副
する サ変・体
に 断・用
あら 補動・ラ変・未
たり 存・用
む 推・体（結）
と 格助・引用
て、 接助・単接
なほ 副
見る。 マ上一・終
され ラ変・已
ば、 接助・順偶
こ 代
の 格助・体修
水、
熱湯 格助・変化
に
たぎり ラ四・用
ぬれ 完・已
ば、 接助・順偶
湯 格助・対象
を
ふて タ下二・用
つ。 完・終
また 副
水 格助・対象
を
入る。 ラ下二・終
見る マ上一・体
に 接助・単接
いと 副
かなしく 形シク・用
て 接助・単接
、
走り出で ダ下二・用
て 接助・単接
、
「いかなる 形動ナリ・体
心地 サ変・用
し
給へ 補動・ハ四・已（尊）男→もとの女
ば 接助・順理
、
かく 副
し サ変・用
給ふ 補動・ハ四・体（尊）男→もとの女
て 接助・単接
は 係助・強意
言ひ ハ四・用
て 接助・単接
、
ぞ。」 終助・疑問
寝 ナ下二・用
に 完・用
かき抱き カ四・用
と 格助・引用
て 接助・単接
なむ 係助・強意（係）
ける。 過・体（結）
かく 副
て 接助・単接
、

ほか　へ（格助・方向）　も（係助・同類）　さらに（副）　行か（カ四・未）　で（接助・打消）、　つと（副）　ゐ（ワ上一・用）　に（完・用）
けり（過・終）。

かく（副）　て（接助・単接）、　月日（名）　多く（形ク・用）　経（ハ下二・用）　て（接助・単接）　思ひやる（ラ四・体）　やう、

つれなき（形ク・体）　顔（名）　なれ（断・已）　ど（接助・逆接）、　女（名）　の（格助・主格）　思ふ（ハ四・体）　こと（名）　いと（副）

いみじき（形シク・体）　こと（名）　なり（断・用）　ける（過・体）　を（接助・逆確）、　かく（副）　行か（カ四・未）　ぬ（打・体）　を（格助・対象）

いかに（副）　思ふ（ハ四・終）　らむ（現推・終）　と（格助・引用）、　思ひ出で（ダ下二・用）　て（接助・単接）、　あり（ラ四・用）　し（過・体）　女

の（格助・体修）　がり（名）　行き（カ四・用）　たり（完・用）　けり（過・終）。　久しく（形シク・用）　行か（カ四・未）　ざり（打・用）　けれ（過・已）

ば、（接助・順理）　つつましく（形シク・用）　て（接助・単接）　立て（タ四・已）　り（完・用）　けり（過・終）。　さて、（接）　垣間め（マ四・已）

ば、（接助・順偶）　我（名）　に（格助・対象）　は（係助・区別）　よく（形ク・用）　て（接助・単接）　見え（ヤ下二・用）　しか（過・已）　ど（接助・逆接）、

いと（副）　あやしき（形シク・体）　さま（名）　なる（断・体）　衣（名）　を（格助・対象）　着（カ上一・用）　て（接助・単接）、　大櫛（名）

を（格助・対象）　面櫛（名）　に（格助・状態）　挿しかけ（カ下二・用）　て（接助・単接）　をり（ラ変・用）、　手づから（副）　飯（名）

盛り（ラ四・用）　をり（ラ変・用）　けり（過・終）。　いと（副）　いみじ（形シク・終）　と（格助・引用）　思ひ（ハ四・用）　て（接助・単接）、　来（カ変・用）

に（完・用）　ける（過・体）　ままに（連語（名＋格助・状態））、　行か（カ四・未）　ず（打・体）　なり（ラ変・用）　に（完・用）　けり（過・終）。　こ（代）

の（格助・体修）　男（名）　は（格助・区別）　王（名）　なり（断・用）　けり（過・終）。

（第百四十九段）